

JSer.info 400回記念イベント

自己紹介

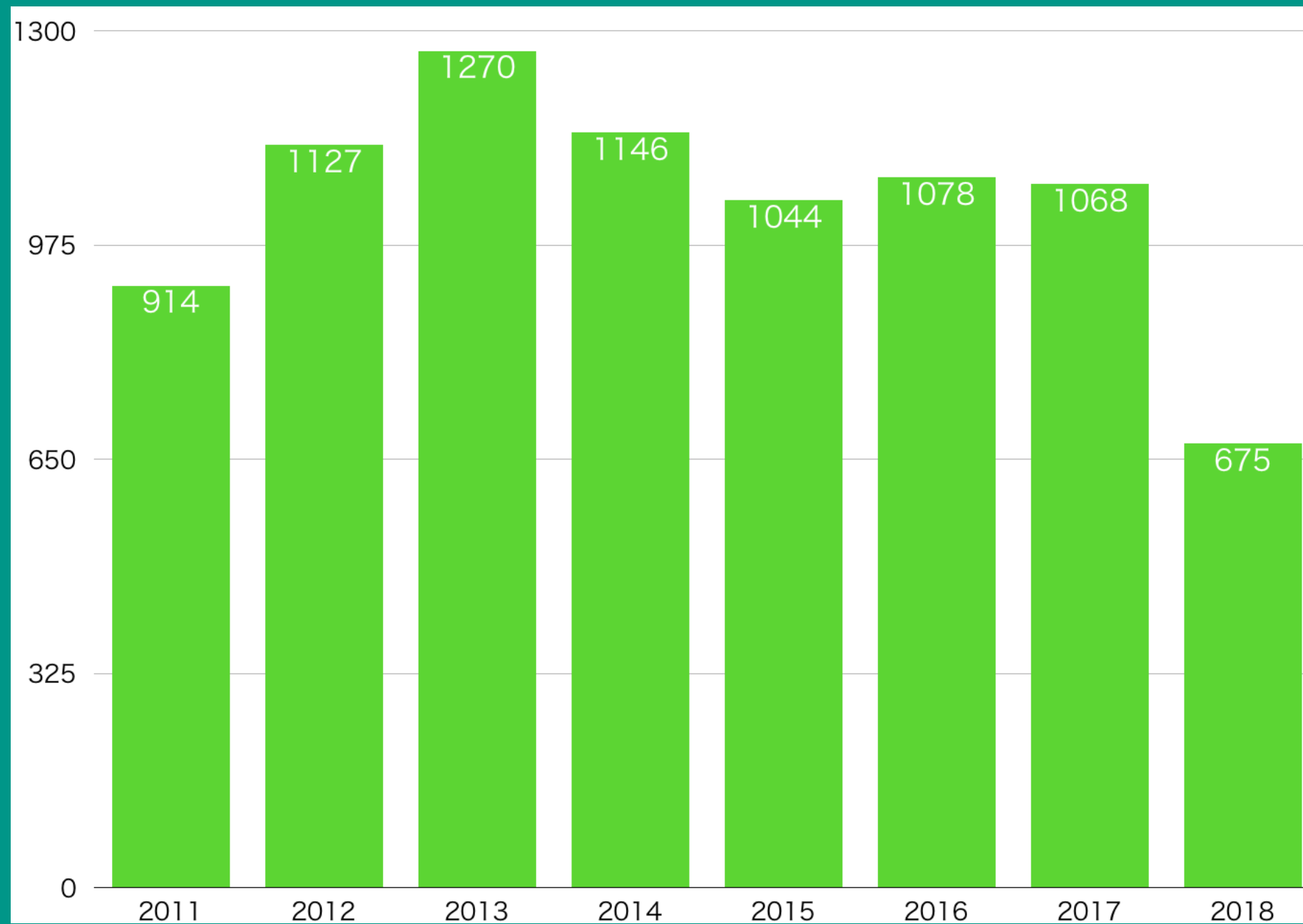
- Name : **azu**
- Twitter : [@azu_re](#)
- Website: [Web scratch](#), [JSer.info](#)



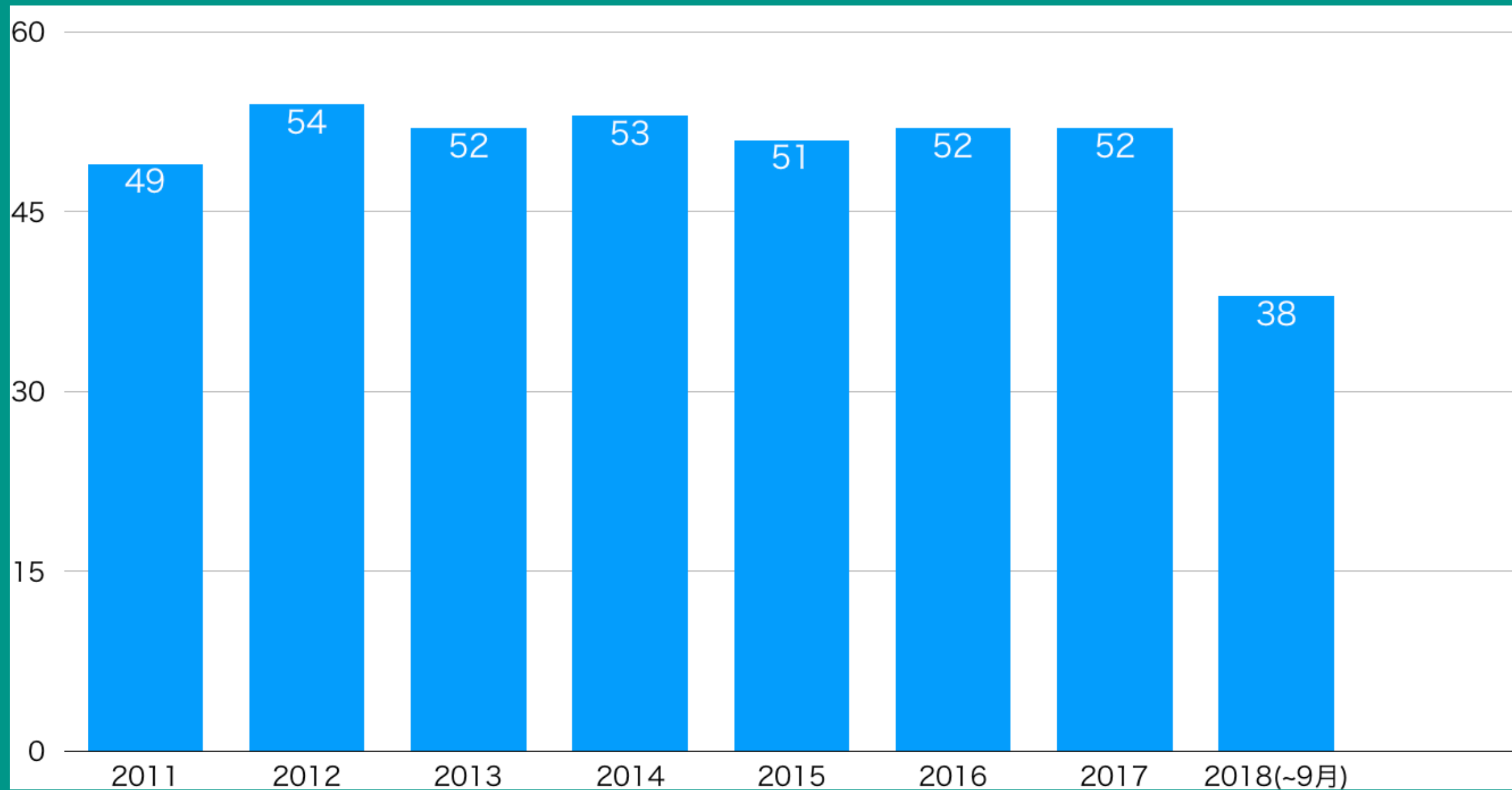
JSer.infoとは

- ・ 2011年1月15日から週一で更新しているJavaScript情報サイト

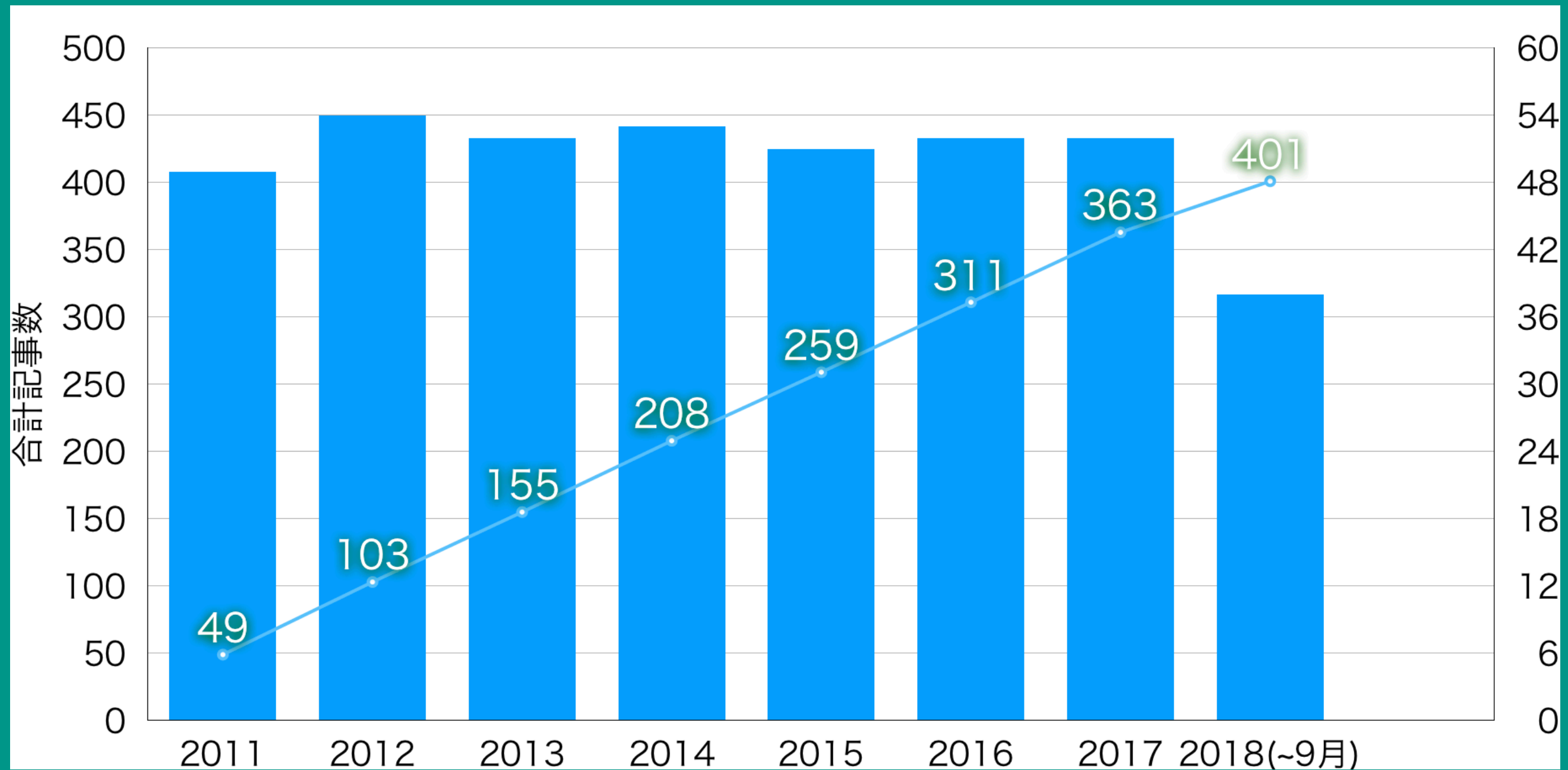
紹介アイテム数



投稿記事数



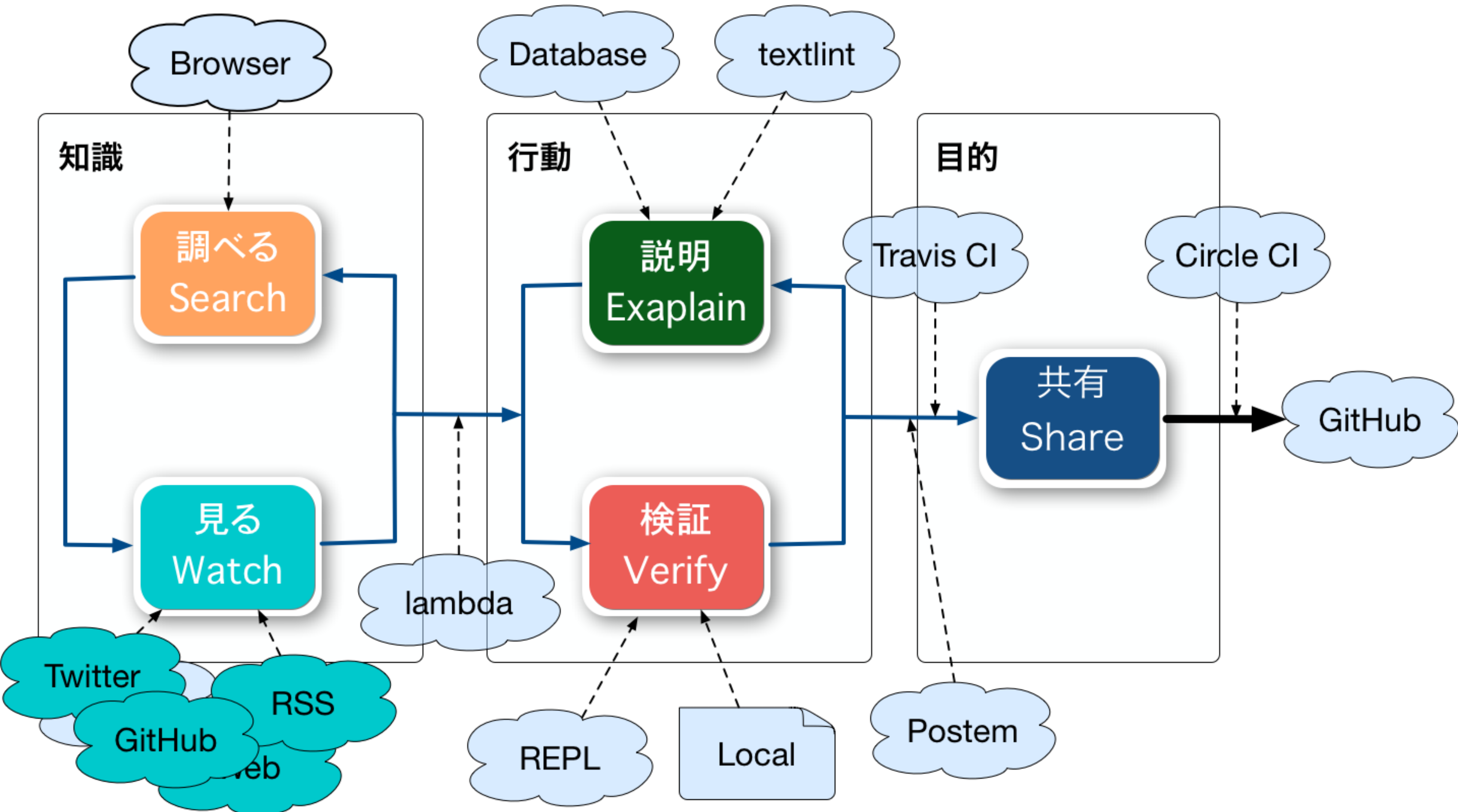
投稿記事の合計



400 🎉

JSer.infoの更新

- 以前書いたワークフローが続いている
- 週一の更新が8年弱続いている
- [JSer.infoの作り方](#)
- [JSer.infoを開始してから7年が経ちました - JSer.info](#)



変更点

- Twitter Bot
- 記事ドラフトの自動作成
- タイトルの自動化

Twitter Bot

- 進捗を教えてくれる
- PRを出してくれる
- 基本的にPCで編集は行うけど、閲覧はモバイルで行うために作った



JSer.info @jser_info

59s

@azu_re 今の投稿ステータスです！

平均値: 20.748129675810475

中央値: 21

現在値: 2



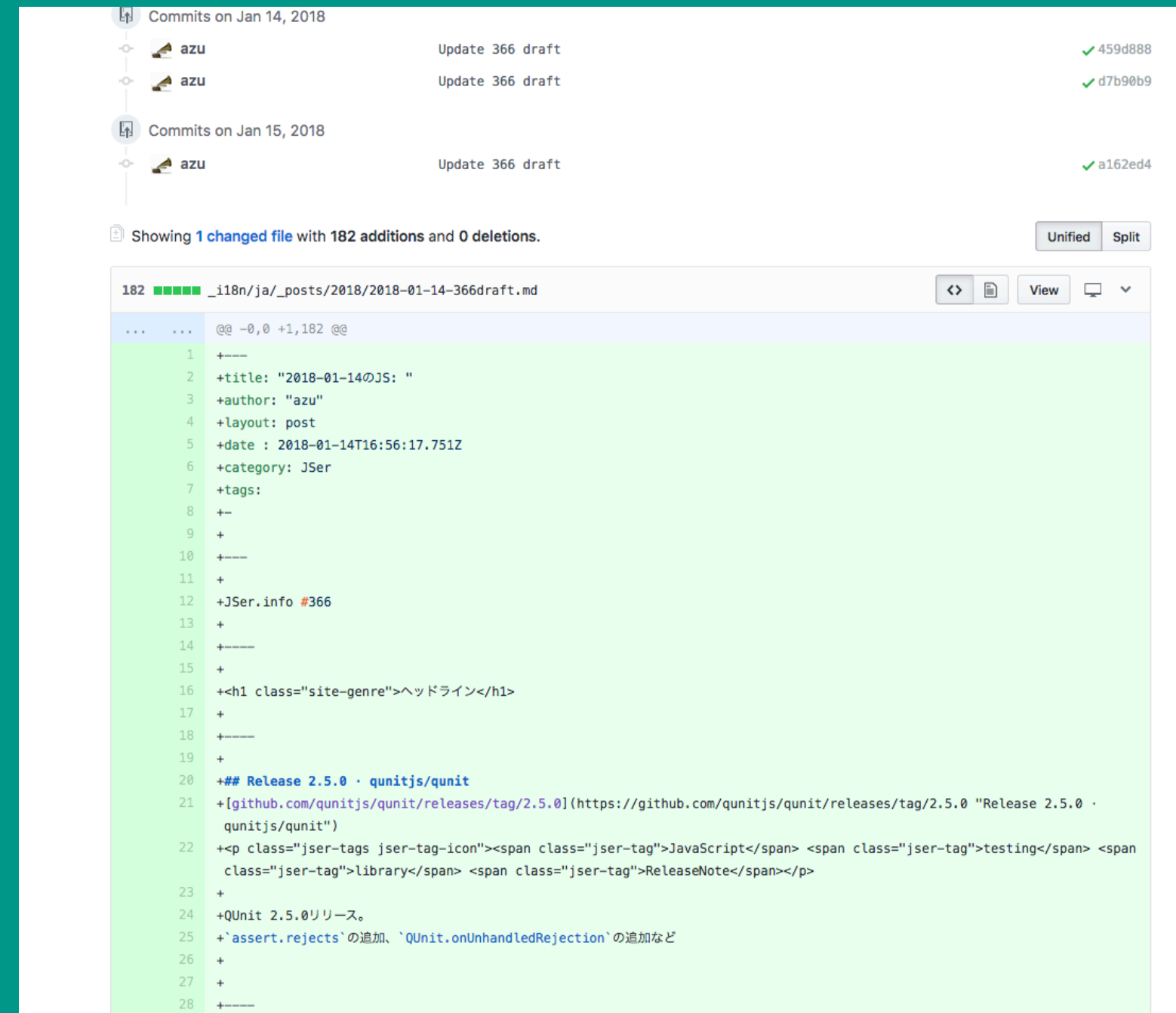
azu @azu_re

1m

@jser_info 進捗どう？

記事ドラフトの自動作成

- 紹介候補のアイテムを追加するたびに記事のドラフトを更新
- 記事アイテムは、過去データを使って学習してカテゴリ分類する
- [@jser/classifier-item-category](#)
- 記事の作成はタイトルとヘッドラインの説明を書くだけ



The screenshot shows a commit history for a repository. The top section lists commits on Jan 14, 2018, and Jan 15, 2018, all by user 'azu', with the message 'Update 366 draft'. The diff view below shows changes to the file `_i18n/ja/_posts/2018/2018-01-14-366draft.md`. The diff includes a title, author, date, and category, followed by a heading for 'Release 2.5.0 · qunitjs/qunit' and a paragraph of text.

```
Commits on Jan 14, 2018
azu Update 366 draft ✓ 459d888
azu Update 366 draft ✓ d7b90b9

Commits on Jan 15, 2018
azu Update 366 draft ✓ a162ed4

Showing 1 changed file with 182 additions and 0 deletions.

182 _i18n/ja/_posts/2018/2018-01-14-366draft.md
@@ -0,0 +1,182 @@
1 +---
2 +title: "2018-01-14のJS: "
3 +author: "azu"
4 +layout: post
5 +date : 2018-01-14T16:56:17.751Z
6 +category: JSer
7 +tags:
8 +-
9 +
10 +---
11 +
12 +JSer.info #366
13 +
14 +---
15 +
16 +<h1 class="site-genre">ヘッドライン</h1>
17 +
18 +---
19 +
20 +## Release 2.5.0 · qunitjs/qunit
21 +[github.com/qunitjs/qunit/releases/tag/2.5.0](https://github.com/qunitjs/qunit/releases/tag/2.5.0 "Release 2.5.0 · qunitjs/qunit")
22 +<p class="jser-tags jser-tag-icon"><span class="jser-tag">JavaScript</span> <span class="jser-tag">testing</span> <span class="jser-tag">library</span> <span class="jser-tag">ReleaseNote</span></p>
23 +
24 +QUnit 2.5.0リリース。
25 +'assert.rejects'の追加、`QUnit.onUnhandledRejection`の追加など
26 +
27 +
28 +---
```

タイトルからslugを作成

- [probot-jser-info](#)によって、記事のタイトルとURL(slug)が自動的に同期する
- [probot](#)を使ったbot
- GitHubのイベントに応じた反応をするフレームワークみたいなもの
- コミットする時に記事っぽいファイルなら、ファイル名を自動的に変更する機能を実装した



JSer.infoの投稿時の手動部分

- タイトルを決める
- タグを決める
- ヘッドラインを書く
- 残りの部分はGitHubのUIでそのまま書いている
- ヘッドラインを書くときは[withExEditor](#)でエディタを使う

JSer.infoのデータ・セット

- 8322コアイテム(タイトル、URL、説明、タグ、関連URL)、JSer.infoの記事が401コある
- [@jser/stat](#)を使うと扱いが楽
- [jser/dataset](#): JSer.infoのデータセットや処理ライブラリ
- [JSer.infoのデータセットと統計前処理ライブラリを公開しました | Web Scratch](#)

```
import { JSerStat } from "@jser/stat";
import { fetchItems, fetchPosts } from "@jser/data-fetcher";
(async () => {
  const [items, posts] = Promise.all([fetchItems(), fetchPosts()]);
  const stat = new JSerStat(items, posts);
  const firstWeek = stat.findJSerWeek(1);
  // JSer.infoの1回目の記事

  const firstItem = firstWeek.items[0];
  // JSer.infoで最初のアイテム

})();
```


Tryしたがうまくいかなかったもの

Podcast

[jser/podcast: JSer.info podcast creator](#)

- 記事から自動生成できるPodcastシステム
- 記事をアイテムごとに分解
- アイテムをSSMLに変換
- SSMLを[Amazon Polly](#)に投げてmp3を生成
- アイテムのmp3を結合して記事のmp3を作成する

AMP Story

AMP Story

- [AMP Story](#)に対応している
- <https://jser.info/2018/xxx>
- -> <https://jser.info/ampstory/2018/xxx>
- AMPはOptionalではなくデフォルトになるため相性がいまいち悪い
- linkを設定するとAMPを優先してしまう



2018/09/11の
JS

JSer.info

いろいろ失敗してる

- いろいろやっているいろいろ失敗もしてる
- いまも日本語で書けるechojsみたいなのが欲しいとか考えている
- フロントエンドランチの補助とかslack連携とかなんかやったほうがいいのかとか考える
- これもJSer.infoの目的を果たすため

JSer.infoの目的

このサイトは言語問わないJavaScriptの情報を紹介するサイトです。しかし、真の目的はJavaScriptの情報を”紹介”ではなく”知ってもらおう”事にあるため、継続的な活動が必要となるでしょう。

— [JSer.infoについて - JSer.info](#)

We continue to improve 

今日のイベントの話

このイベントの趣旨

- データは十分にある
- 一方で自分で探すと集まるデータは偏りやすい
- いろいろな角度の情報を好み、情報の確度を上げる
 - 多すぎる情報の扱いは現代の課題
- いろいろな情報は議論で効率よく得られる
- なので議論しよう

テーマ

「憶測しないで議論しよう」

議論しやすくするための補助

- ・ イベントの議事録
 - ・ イベントの議事録はリアルタイムで書かれています
- ・ 質問ボード
 - ・ 発表に関する質問はリアルタイムで書けます

議事録

<https://bit.ly/jser400-paper>

議事録: Dropbox Paper

<https://bit.ly/jser400-paper>

- このイベントはDropbox Paperで議事録が公開されています
- 書紀杵の方によってリアルタイムにメモが書かれていきます
- Thanks to [@lequinharay](#), [@448jp](#), and [@suzuki](#)

Norio S

JSer.infoについて - azu

azu a

スライド: JSer.info 6周年イベント

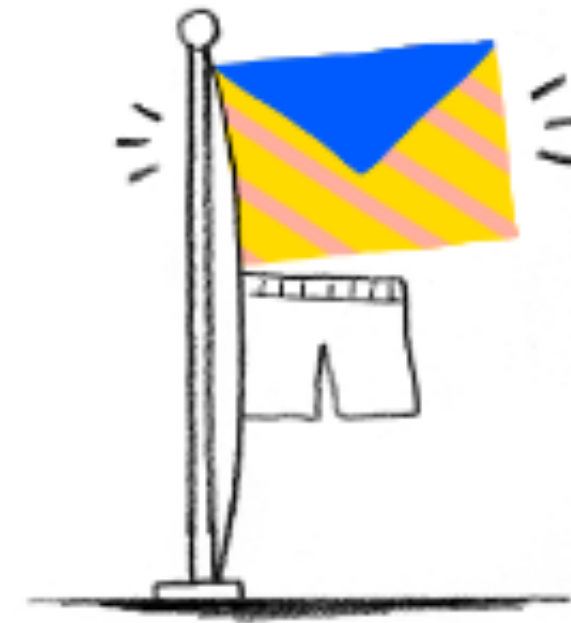
Norio S

- JSer.info、明日で6周年
 - 1000記事/年くらい紹介
- 紹介記事の傾向
 - JSONファイルで管理
 - jser/stat-js に入れている
 - MIT ライセンス
 - このスライド用にダッシュボード作った
- Dashboard のデータ
 - ドメイン別
 - GitHub が多い
 - リリースノートが書かれる
 - ブログ系ドメインが変わってきた
 - はてなダイアリー
 - 下がってきた
 - はてなブログ
 - 最近では Medium / Qiita が増えてきた
 - Qiita / Medium
 - Qiita: 日本語圏
 - Medium: それ以外の言語圏
 - 自ドメインに書いている人が減りつつある
 - プラットフォームのほうがコメントなど貰いやすい
 - 人だけでなくタグでも追えるのがプラットフォーム
 - プラットフォーム以外
 - SNS、SBM、Echo JS

議事録: 注意

<https://bit.ly/jser400-paper>

- ログイン済みは”ドキュメントを開く”をクリックすると開ける
- メールアドレスがツールバーに表示される
- ログインしていない場合もドキュメントは閲覧できる
- メールアドレスを出したくない人はPrivate Windowで閲覧すればOK



Azu a(azuciao@gmail.com) さんが所有者の
「JSer.info 400回記念イベント」を開いています

ドキュメントを開くと、あなたのメールアドレス (yourmail@address.com) がドキュメントのメンバーである他のユーザーに常に表示されます。

ドキュメントを開く

質問ボード

<https://sli.do/#jser400>

質問: sli.do

<https://sli.do/#jser400>

- sli.doに質問ボードが用意されています
- 発表中に疑問に思ったことをできるだけ詳しく書き込む
 - 議事録も参考にしましょう
 - 質問時間を多めにとってあります
- Thanks to [@takanoripe](#)

テーマ

「憶測しないで議論しよう」

どのようなときに憶測で話すか？

- 未知の分野
- 興味がない分野
- 印象
- 過去のイメージを引きずっている場合
- 漠然とした憶測
- データがない
- 判断材料がない



憶測と推測

- 「推測」 – ある根拠（理由やデータ）をもとにものごとを考えること
- 「憶測」 – 根拠（理由やデータ）なしにものごとを考えること

なぜ「憶測」する？

- すべてのことを知っている人はいない
- データがない分野は推測するか憶測する
- or 人に聞く

すべてのことを知っている人はいない

- [Do you know MDN APIs?](#)
 - <https://mdn-browser-compat-data-learning-level.netlify.com/>
 - MDNに載っているすべてのstandard_trackなAPIをYES/NOで答えるクイズアプリ
- API、CSS、CSS、HTML、HTTP、JavaScript、MathML、SVG、WebDriver、WebExt、XPath...

Share results to Twitter

Copy results

←YES

API
Animation

No→

結果

- 適当にやって 5347/8502(63%) だった
- (WebPlatform) API、MathML、SVG とかは知らないものが多かった
- 数時間かかるのでやらないほうがいい



azu

@azu_re

Do you know MDN APIs?

All:5347/8502(63%)

API:2876/5138(56%)

CSS:812/952(85%)

HTML:569/595(96%)

HTTP:175/178(98%)

JavaScript:804/807(100%)

MathML:34/176(19%)

SVG:33/595(6%)

WebDriver:38/54(70%)

WebExtensions:1/1(100%)

XPath:1/1(100%)XSLT:4/5(80%) ... [ompat-](#)

[data-learning-level.netlify.com](#)

個人の知識には限界がある

今のウェブにはデータが溢れている

- データは根拠を構成する一部
- 根拠 = 理由 + データ
- データを活用すると建設的な議論がしやすい

データ

- [Google BigQuery の一般公開データセット](#)

GitHub

- [GitHub データ](#)
- [GH Archive](#)
- BigQueryでGitHubのデータを検索できる
- Prettierのデフォルト設定を決めるのに参考にされていた
- [Markdown Unordered List Item Symbol · Issue #4251 · prettier/prettier](#)

j-f1 commented on 8 May • edited by lipis ▾

Counting the number of files gives this result:

symbol	count
*	27 858
-	21 290
+	1 262

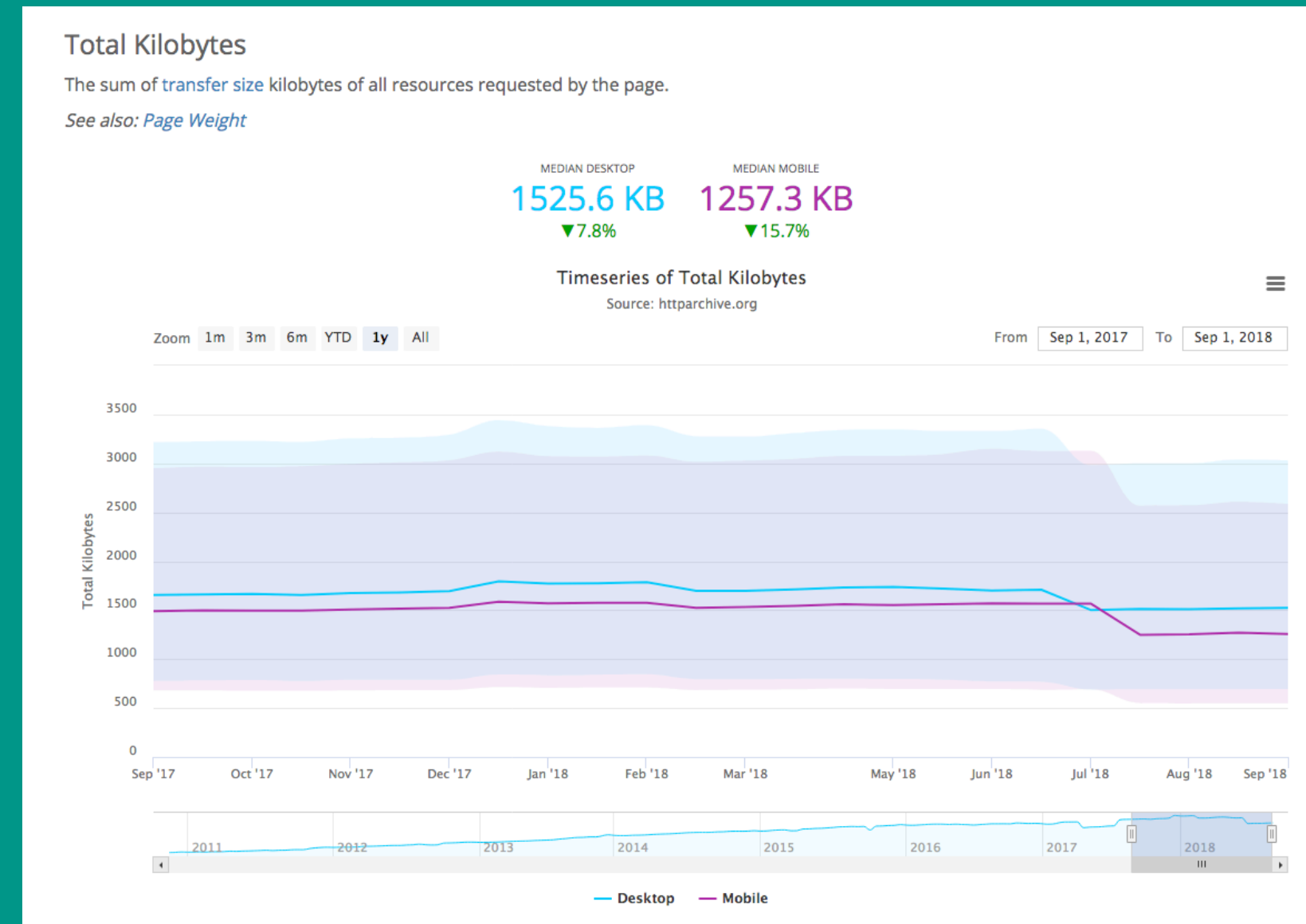
(of course, this is after Prettier has run on lots of those files)

Chrome UX Report

- [Chrome User Experience Report | Tools for Web Developers | Google Developers](#)
- Chromeで集めたRUMなデータをBigQueryで引ける
- First Paint、First Contentful Paint、DOMContentLoaded、Connection Type、Device Type、Countryなど

HTTP Archive

- 非営利組織のHTTP Archiveの一部
- Chrome User Experience ReportとAlexaから得た100万+サイトを対象にクローリングしたデータ
- WebPagetestを使ったパフォーマンス関係のデータを取得できる(CrUXよりだいぶ詳細)
- BigQueryを使った検索もできる
- データを可視化したState of the Webも公開されている



HTTP Archive

- WebPagetestの結果にはWappalyzerを使ったフレームワーク判定を含むようになった
- フレームワークごとに分けてページ情報などを検索できる
- Loading Speed across JS Frameworks - Analysis - Discuss - HTTP Archive

Results	Details							Download
Row	jsframework	freq	firstPaint	firstContentfulPaint	firstMeaningfulPaint	timeToInteractive		
1	null	959873	1727.0	1803	2151	3665		
2	React	65891	1528.0	1569	1963	7258		
3	AngularJS	49562	3593.0	3695	3898	8061		
4	Prototype	24040	2453.0	2532	2914	4543		
5	Backbonejs	22859	1359.0	1383	1778	3260		
6	RequireJS	17112	2107.0	2229	2707	4583		
7	MooTools	15566	2855.0	2903	3205	4774		
8	Mustache	14060	1560.0	1603	2065	4140		
9	Handlebars	12637	2056.0	2172	2746	5271		
10	TweenMax	10478	2419.0	2518	3297	5497		
11	Mustache-dev	10245	1124.0	1125	1607	8877		
12	Vuejs	7814	2250.0	2365	2951	5019		
13	Knockoutjs	6283	1947.0	2050	2542	4262		
14	Angular,Zonejs	2821	1954.0	2680	4264	7174		
15	Socketio	2483	2311.0	2433	2965	5722		
16	AlloyUI	2389	3818.0	3921	4402	6570		

Table JSON

First < Prev Rows 1 - 16 of 1226 Next > Last

Browser Compatibility Data

- [Chrome Platform Status](#)
- [WebKit Feature Status](#)
- [Firefox Platform Status](#)
- [Microsoft Edge web platform features status](#)
- [mdn/browser-compat-data](#)
- MDNのAPIの互換テーブル表で使われてるデータ

Webのデータ

- [Firefox Public Data Report](#)
- [Let's Encrypt Stats - Let's Encrypt - Free SSL/TLS Certificates](#)
- [インターネットの観測情報 | Akamai](#)

データは完全ではない

- データは完全ではないことも多いので検証も必要
- 偏ったデータ
- 因子が足りていないデータ
- 人によって読み方違うデータ
 - データ ≠ 情報
 - 情報は主観的なデータ

データ != 情報

- データ自体はデータでしかない
 - ただのバイト列のデータ
 - (人間が)データを解釈して情報となる
- 意味あるデータ = 情報
- 同じデータでも人によってそれが**情報**なのか?は異なる

JavaScript情報ってなんだっけ?

議論が難しくなるケース

- データ自体が間違っているケース
- 一部の角度のみのデータを見ているケース
- 価値観や感情を根拠にしているケース

価値観や感情のケース

- Pythonのケース
 - [Issue 34605: Avoid master/slave terminology - Python tracker](#)
- Reactのケース
 - [The use of "blacklist" is offensive! · Issue #13604 · facebook/react](#)
- Lernaのケース
 - ~~✗~~ [\(REVERTED\): Add text to MIT License banning ICE collaborators by jamiebuilds · Pull Request #1616 · lerna/lerna](#)

「差別」の難しさ

- 差別語には単語そのものと文脈からくる区別がある
- 特に文脈の解釈は個々の価値観によって行われるため議論が難航しやすい
- 参考: 日本語における差別語概念の変遷
—1960年代以降の差別語問題から考える—

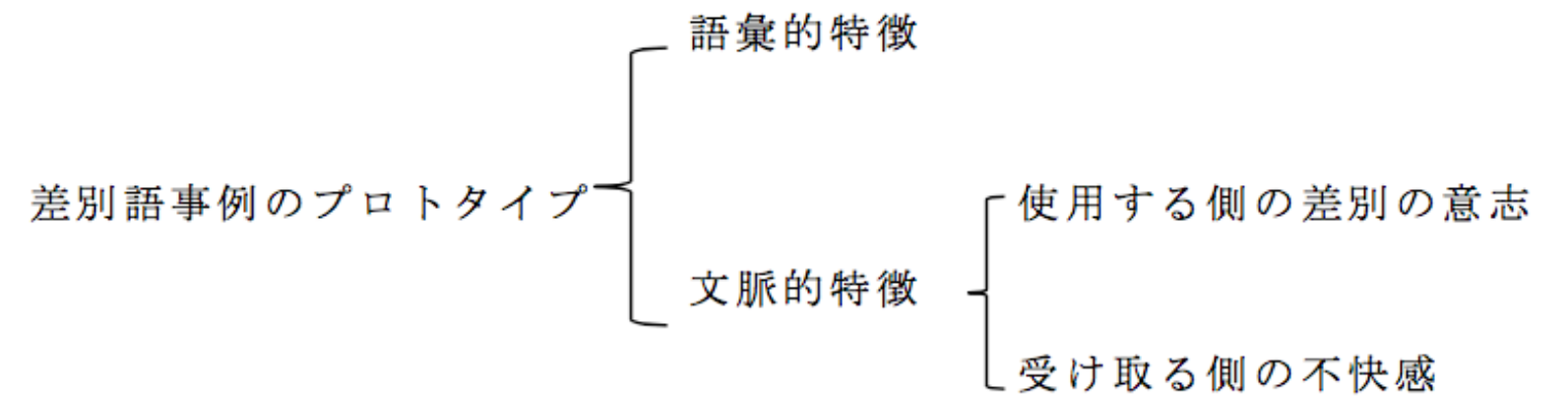


図 4.1 差別語事例のプロトタイプ的特徴

例: blacklist

- ブラックリストの語源は差別とは異なるもの
- それを差別と感じるかどうかは個々の解釈が含まれる

* * *

イングランド王チャールズ2世が、清教徒革命で父王チャールズ1世に死刑を宣告した58人の裁判官のリストを亡命中に作成したことが「ブラックリスト（黒い名簿）」の起源であるという

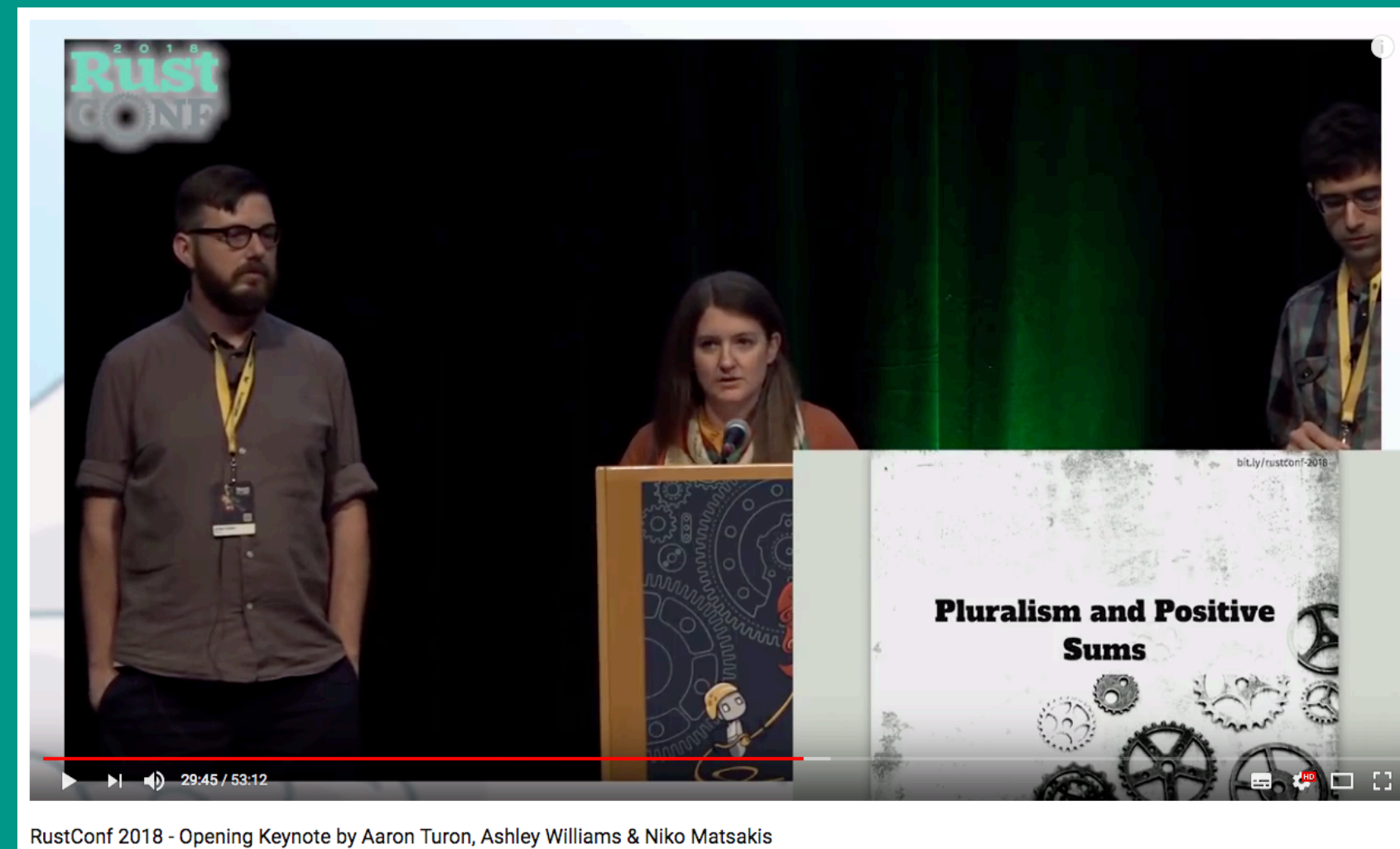
– [ブラックリスト - Wikipedia](#)

感情に感情で返す問題

- 感情で返すと話はすすみにくい
 - 「こうしたほうがいい」に対して「私はこれが嫌いです」と答えてしまう
- 感情の議論はZero Sumな結果になりやすい
 - YES or NOの結果になってしまう
 - それ以外にあるかもしれない最適な別の解を見逃してしまう

RustConf 2018

- [RustConf 2018 - Opening Keynote](#)での Openness についての話
 - 参考: [aturon.log: listening and trust, part 1](#) · Aaron Turon
- コミュニティには Pluralism (多様性) と Positive Sum が重要という話



Zero Sum と Positive Sum

- どうしても感情の議論はZero Sumの結果を目指してしまう
 - たとえば「Angularはここが面白い」に対して「私はAngularが嫌いなので興味がないです」で終わってしまう
 - Win-Loseな関係
- このイベントで目指す議論はPositive Sumな結果
 - たとえばVueの話を聞いて、AngularやReactでも似たような話があるので、互いの違いを教え合ったり、こういう手法はどうですかという話ができる
 - これは互いに知らなかったことを知ることができるためPositive Sum
 - Win-Winな関係

議論は勝ち負けではなく

- 最適な解決方法を目指す流れのこと
- ここでは結論がでなくても理解が深まればそれでいい
- 主張をちゃんと聞いてから反応を返す(途中で遮らない)
- 主張には根拠(理由とデータ)を示すとより論理的に議論できる
- 価値観の議論は難しい -> ゼロサムよりもポジティブサムをめざして議論することを心がける

JSer.info 400回記念イベントの目標

- 今日のイベントが目指すのはPositive Sum
- なにか得るものがあれば良い
- まあ難しいことはあまり考えずに楽しみましょう🙌🙌

Thanks